

everyone's voice

みんなの声

投稿テーマ

〇〇に出会えるおでかけスポット。

GOOD LUCK Coffeeのオーナー青柳さんは、仕事に煮詰まると良いインスピレーションをくれます。また、そこで生まれるコーヒーコミュニケーションも素晴らしいです。

投稿者 あすみんさん

ドライブイン刈谷田!ホテルの研究をしているオジサンに会える!キノコの研究もしているんだって!

投稿者 のんちゃんさん

与板のコーヒー屋さんの焙煎人とバリスタのマダムは、いつもニコニコ素敵な笑顔で元気と癒しをもらえます♪

投稿者 くゆさん

与板の削ろう会のイベントに行くと、カンナなどの地元の伝統工芸品の扱い方や手入れの仕方が面白おかしく丁寧に教えてくれる水品さんという方がいます。与板の文化に触れにぜひ訪ねてみてください。

投稿者 与板地域むすび隊 中村充志さん



投稿募集

6月の投稿テーマ

雨から生まれたエトセトラ

【募集期間】5/20～6/20

投稿方法

投稿フォームを使う
協働センター窓口で投稿する

QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。
協働センター窓口には「みんなの声」コーナーから投稿できます。



つながるラジオ

週替わりで市民活動団体を紹介するFMながおかのラジオ番組。
■放送局: FMながおか (80.7MHz)
■放送日: 毎週月曜日17時頃～(10分間) ※第5月曜日を除く

column

市民活動・虎の巻

地域の空きスペースを活用!
場の魅力をつくるオーナーの心得

まちの駅 森の仲間「千の森」 青柳忠浩さん

カフェや図書室、ホールなど多様な会場を提供する千の森には、多くのサークルが集まります。大切なことは場を作るオーナーが何をしたいのかをはっきりしていること。ただ空間を貸すのではなく自らもその活動に興味と関心を持ち、時間があれば一緒にやろうという積極性が必要かと思えます。何をしたいか理念・テーマがハッキリしていれば実現するためのイメージ、アイデアがわき、具体化するための知恵が自ら生み出せます。相手方のしたいこと、できることを聞いたり、待つことも大切ですが、まずはオーナー自らが具体的にこうしたいという構想を持ち、提案・アプローチすること。それに共感・共鳴してくれる人と手をたずさえて行動に移すことが第一歩になります。そうして集まった共通の夢と思い願いをもてる仲間が存在が場の魅力を生み出すと思います。



※この記事はWEBサイト「コライト」からの抜粋です。

information

センターからのお知らせ

専門家を派遣します!
出前相談

29年度
受付中!

税務相談

労務相談

法人設立
相談

など

活動団体の組織運営能力アップを目指して団体のニーズに合わせた講師を無料派遣。この機会にお悩みを解決しませんか?

※団体の現状をヒアリングした上で、専門家を決定します。
困りごとのある団体はお気軽にお問い合わせください。



対象

長岡市内のNPO法人
市民活動団体
ボランティアグループ



コライト、見ないと!

コライト

検索

ながおか市民協働センターは、地域をより良くする市民の活動が集まる拠点です。協働センターのwebサイト「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。らこつてのバックナンバーも閲覧できます。ぜひご覧ください。

らこつマ

2017.6.1
(vol.54)

FREE

【発行】ながおか市民協働センター

〒940-0062 長岡市大手通1丁目4番地10 シティホールプラザアオーレ長岡 西棟3F
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900 Mail. kyodo-c@ao-re.jp http://nkyod.org

配布場所

長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。

知る、つながる、好きになる ながおか市民活動情報誌

らこつマ

Racotte
vol.54

発行 ● ながおか市民協働センター

2017
6
FREE

市民活動でまちに飛び出す子育て夫婦
和田浩之さん・悦子さん



インタビュー interview



地域を相手に新たな働き方にチャレンジ
納谷光太郎さん

● 団体PickUp!

「与板でもっと遊べるように!」
スタンプを開発!

与板LINEスタン部

「空き店舗を地域の憩いの場に!」

栃尾本町商店会×地域おこし協力隊

「庶民の楽しみ“民謡”に親しむ機会を提供」

民謡すみれ会

「誰もが自立して自分らしく生活を送れるように」

特定非営利活動法人 希望の会福祉会

● 長岡企業のソーシャルアクション!

「本格的なもののづくりを楽しめる設備を市民に開放!」

株式会社丸栄機械製作所/長岡市鉄工町「匠の駅」

● みんなの声

投稿テーマ「〇〇に出会えるおでかけスポット。」



毎週月曜日17時頃から放送中!
つながるラジオ

FMながおか
80.7MHz

ながおかの
市民活動紹介番組

放送時間 10分程度
第5月曜日を除く

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー！
活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根掘り葉掘りお聞きしました。



和田浩之さん〈32歳／和食料理人〉ナガオカご藩・悦子さん〈32歳／見習い絵本作家〉長岡野菜絵本プロジェクト

得意を活かして、子どもたちの未来を拓く手助けを 親であり市民でもある私たちの子育て

和田浩之さん・悦子さんは、5歳と7歳の元気盛り二人の子育てをしながら、市民活動に取り組む夫婦です。長岡へのUターン後、「地元長岡のために活動する人たちの姿に刺激を受けた」というお二人は、下の子が入園し時間ができた頃に活動を始めました。

料理人の浩之さんは、食で長岡を盛り上げる団体「ナガオカご藩」を設立。料理教室の開催や、食のイベントへ参加しています。絵を描くことが好きな悦子さんは、「長岡野菜絵本プロジェクト」を立ち上げ、Uターン後に感じた地元長岡の豊かな自然や伝統野菜の魅力を若い親子に伝えようと活動しています。

お二人とも団体の中心的存在で、企画や事務作業が忙しくなり、家族の時間は減少。子どもにもっと向き合いたいという気持ちと、活動にも手を抜きたいというふたつの気持ちの間で葛藤は止みません。それでも「お

出かけは家族全員で」「絵本の作業は子どもが寝付いた22時から0時まで」など、工夫して家庭と活動の両立を図っています。「子どもが、親の仕事をしている所を目にする機会は少ないので、一生懸命な姿を見せられるのは良いと思います。仕事と家事以外にも何かするのが和田家だと思っているんじゃないでしょうか」と、浩之さん。また夫婦喧嘩は増えたそうですが、「口を出しすぎない」「お互い様だからフォローし合う」など気遣いしながら、乗り越えているそうです。

活動に共通するのは、長岡の子ども達に豊かな人生を歩んでほしいという想い。「料理も、絵本も、子ども達は目をキラキラさせながら何でも吸収しようとしてくれます。いろんな経験がで選択肢を増やす機会を作りたいです」と話すお二人に、市民活動と子育ての線引きは無いのかもしれない。



●上:「ナガオカご藩」の親子料理教室で分かりやすく教える浩之さん。●左下:自作の絵本を読み聞かせる悦子さん。子どもからの遠慮のない意見が大いに参考になっています。●右下:休日は一緒になって遊ぶなど、今しかない子どもとの時間も大切にしています。

profile

- 1984年 お二人とも長岡市に生まれ、同級生として小学校・中学校生活を過ごす。浩之さんは就職を機に、悦子さんは大学進学を機に関東へ居を移す。
- 2009年 結婚。同年、関東で第一子を出産し、二年後には第二子を出産。
- 2012年 悦子さん、Uターン。
- 2014年 浩之さん、Uターン。
- 2016年 浩之さん、ナガオカご藩を立ち上げ。悦子さん、長岡野菜絵本プロジェクトを立ち上げ。

活動の根っこ

ナガオカも
ごはん日と絵本日
もっと楽しく!!
和田浩之・悦子



納谷光太郎さん〈41歳／団体職員〉北荷頃・一之貝・軽井沢集落連携促進協議会

多様性の豊かさに惹かれて 地域務めで磨かれる新たな働き方

納谷さんは、「北荷頃・一之貝・軽井沢集落連携促進協議会」(以下、協議会)の職員。主に、都心の園児や小学生の受け入れ企画を実施。他にも地域資源を活かした業務を通して地域の存続を目指して活動しています。

元々は民間企業で働いていた納谷さん。家族が増えたことをきっかけに転職を決意しました。協議会事務局のNPO法人UNEと出会い、地域に根差した仕事に興味を持ったそう。「見学で農家レストランを訪ねた際、地域内外の人たちとスタッフ、40名以上が一堂に『いただきます』と手を合わせ、居合わせた見ず知らずの人と会話をしながら食事をする光景がありました。それが“豊かだ”と思い就職を志願したんです。人柄と経験から協議会事務局次長として迎えられました。

「企業の多くは、売り上げで成果を測ります

が、ここは地域が相手。イベントにたくさん人が来て、地域がよくなったかどうかは長い目で見る必要があると思います。継続的に事業を行うため、周囲の人との会話を通した、関係づくりを大切にしています」。前職で身に着けたビジネスの視点で協議会を支えつつ、新たな働き方と日々向き合っています。関わる人が多い分、周囲の考え方も様々な現在の環境について、大変でもあり、楽しむもあると話します。「地域が良くなるために働くので、地域が会社そのものといった感覚です。一家の稼ぎ頭が、こういった仕事を選ぶことは多くはないと思いますが、選択しやすくなるように環境が整っていくといいですね」。

にこやかに周囲に声をかけ、柔軟に振舞いながらも、事業の自立と継続を目指し「食い扶持は自分で稼ぐ意気込みで、チャレンジしていきたい」と意欲を燃やしています。



●上:農家レストランでは集落のお母さんたちが中心となって毎日腕を振ります。様々な人が集い昼食を共にする和やかな時間です。●左下:東京都から47名の園児を迎え5日間アテンド。どんご運動会の一コマ。●右下:双子の娘を持つ父さん。奥さんと協力しながら子育て真っ最中。賑やかな毎日です。

profile

- 1975年 三島郡寺泊町(現長岡市)に生まれる。短大を卒業後、寺泊でサービス業に就く。一時的に携わった飲食部門で飲食業の楽しさを知る。
- 2003年 飲食業へ転職。調理場とホール、店長を経験。
- 2015年 双子の女の子を授かったことをきっかけに、家族との時間を持ちたいと、転職活動をスタート。
- 2016年 現職へ。協議会の立ち上げから携わり、今では、畑でのイベントや、企画の売り込みで県外へ出張することも。多岐にわたる業務をこなします。

活動の根っこ

気持ちの
おとびで
大げに
納谷光太郎

団体PickUp!

「つながるラジオ」で
取材した団体をご紹介します

生の声は
「ラジオ」
「コライト」で!

与板LINEスタンプ

与板でもっと遊べるように!スタンプを開発!



スマホアプリ「LINE」のオリジナルスタンプで、与板をPRしようと若手が集まっています。スタンプに使う「与板弁」を集めるため、年配の方の集まる場に出向き、言葉を教えてもらいました。また、「与板の人のことも知ってほしい」というアイデアから、与板の有名人(?)の似顔絵をスタンプ化することに。「与板のスター」を通じて、顔の見えるつながりを生み出し、与板のファンを増やしていきたいです。

民謡すみれ会

庶民の楽しみ「民謡」に親しむ機会を提供



越路地域にある交流スペース『千の森』で、毎週日曜19時から踊りと唄、三味線などの伝統芸能を練習しています。また長岡甚句をアレンジした美しい舞をイベントや慰問先で披露。高校2年生から還暦を超えたお姉さんまでの10名が所属し、「民謡は庶民の楽しみ!」と和気あいあいと活動中。子どもたちをはじめ多くの人から伝統文化に触れてほしいと、着物の着付け教室を開催したり、地域交流会へ参加したりしています。

栃尾本町商店会×地域おこし協力隊

空き店舗を地域の憩いの場に!



総務省が行う地域おこし協力隊の隊員として、2016年10月に東京から栃尾地域に移住してきた小野寺淳さん。空き店舗活用を命題に地元のワイン愛好団体や、地域住民などと協力して5月に飲食店『栃尾ワインのお店葡萄の杜』をプレオープンしました。現在はモーニングとランチメニューを用意し、週2日営業。夏頃には、本オープン予定。多世代が集う地域の憩いの場を目指しています。

特定非営利活動法人 希望の会福祉会

誰もが自立して自分らしく生活を送れるように



精神に障がいのある方々が自立した生活を送るために、福祉作業所『希望の家』と『のぞみの家』を運営しています。活動の中で定期作業ができない方の居場所が必要と感じ、平成27年4月より地域活動支援センター『ふあーれ』をオープンしました。自分らしく主体的に活動すること、知り合った仲間と協力し合うこと、これらを大切に利用者・スタッフともに楽しく時間を過ごしています。

長岡企業のソーシャルアクション!

地域活動を支える
企業をご紹介します

株式会社丸栄機械製作所／長岡市鉄工町「匠の駅」

本格的なもののづくりを楽しめる設備を市民に開放!

丸栄機械製作所は研削盤等を製造販売するものづくり企業。「ものづくりの楽しさを体験してほしい」と、工場のスペースと50種類以上の機械・工具を開放する「匠の駅」が平成27年にオープンし、学生からシニア世代まで幅広い利用者が集まっています。また、子ども達が本格的な機械に触れられるものづくり体験を受け入れ、作る喜びや技術の大切さを伝えています。



匠の駅HP <http://takumi-no-eki.rgr.jp/blog/>